

きらきらひかる

富士見丘小学校学校支援本部だより

～きらきら輝く子どもの目。その子ども達の学校生活をサポートするのが、富士見丘小学校学校支援本部です。～

地域運営学校(コミュニティ・スクール)の

両輪である

学校支援本部とPTAは

「ふじみ」(子ども・保護者・職員)の

応援団です！



富士見丘小学校校長
浅川 佳代

平成14年度から杉並区教育委員会の指定「学校教育コーディネーター」平田敬子さんが、本校に配属されました。これをきっかけとして、授業づくりに日夜努力している教員の要望に応じて地域や外部の方々とのパイプ役として、ゲストティーチャーを招聘してくださいました。時には、授業内容がバージョンアップするような提案もしてくださいました。子ども達は、魅力的な人やその道の専門家と直接触れ合うことにより、人との出会いと他者理解のためのコミュニケーション能力も身に付けています。

そして、平成19年9月に「学校支援本部」が設立され、保護者や地域のみなさまが一体となって、学校をご支援いただく体制が強化されました。

☆体育科の学習で担任の補助として、ご指導いただく。

☆スタディールーム(補習)で花マル先生として、ご協力いただく。

☆本校の特色のひとつである演劇活動で、演劇体験ワークショップを開催し、ご指導をいただく。

☆キャリア教育の一環として、様々な仕事や活動に携わる方との出会いを企画していただく。

等々、子ども達のために、職員のために、惜しみなくパワーを発揮してくださっています。パイプ役として、オイル役として、時にはスパイス役として、大変心強い応援団です。

さらに、今年度は、本校が「地域運営学校」に指定されました。地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりをめざします。ぜひ、「きらきらひかるふじみの子」のために、これまで以上に学校づくりに参画していただけることを願っています。

学校支援本部 活動紹介

花マルついたら、にっこり笑顔！

1年生スタディールーム(国語・算数の復習)

木曜日の5時間目、担任の先生方とともに活躍中の花マル先生。今年度は、各クラス3名の配置となりました。

問題が解けた子どもからまるつけです。子ども達、ドキドキの瞬間！



問題の解き方やヒントをどのように伝えるか、花マル先生も奮闘中！



NEW!

体育授業、委員会・クラブ活動をサポート

飼育栽培委員会では花植替えのお手伝い、手芸クラブでは縫い方を教えたり、作品作りのアドバイス、4年生の体育では逆上がりの指導に協力しました。

手芸クラブの様子



<サポーターからの一言>

● 飼育栽培委員会 ●

6年生委員は、自分から花の苗を植えたりなど、自発的に活動している姿に、さすが6年生と感じました。

● 逆上がり授業補助 ●

4年生の逆上がりの授業で感心した事は、出来ない友達を応援している姿でした。少しでも上達が見られたら、男女問わず喜んでる姿を見て感動しました。

楽しい経験をさせてもらい、ありがとうございました。

特色ある教育活動「演劇体験授業」

毎年、多彩な講師をお迎えして実施している6年生の演劇体験授業に、今年度は初めてパントマイムを取り入れました。プロのパフォーマンスに興味津々な子ども達。基本の動きを学んだのち、グループに分かれて「見えない壁」を表現しました。言葉を介さないコミュニケーションで「伝える・伝える」を実感した授業になりました。

演劇体験授業にご協力くださる講師陣は多忙な方ばかり。年間カリキュラムに合わせて日程を調整し交渉するなどの準備は前年度から始まることもあります。長い準備期間を経て実施に至るまでの様々なコーディネートも、学校支援本部の役割です。



フールのヤゴ救出大作戦

プール開きを前にした6月1日、3、4年生の「ヤゴ救出作戦」に協力しました。5月末には事前授業として、プールの観察とヤゴの生態についての講義を行いました。用具類の準備、実施要綱の作成、サポーター募集のお知らせ配布などをして迎えた当日は、11名の保護者のご協力のもと、ギンヤンマのヤゴを含む6000匹以上のヤゴを救出することができました。



NEW!

低学年を対象に託児支援

4月16日に実施された低学年保護者会の時間帯に、1、2年生の希望者34名の託児を行ない、6名で対応しました。

託児希望者名簿をチェックし、受付を済ませた子ども達は、まず、宿題に取り組み、その後、読書、折り紙、粘土、ビデオ鑑賞と思い思いに過ごしました。託児を行なう事で、保護者会への参加の手助けとなれば嬉しく思います。

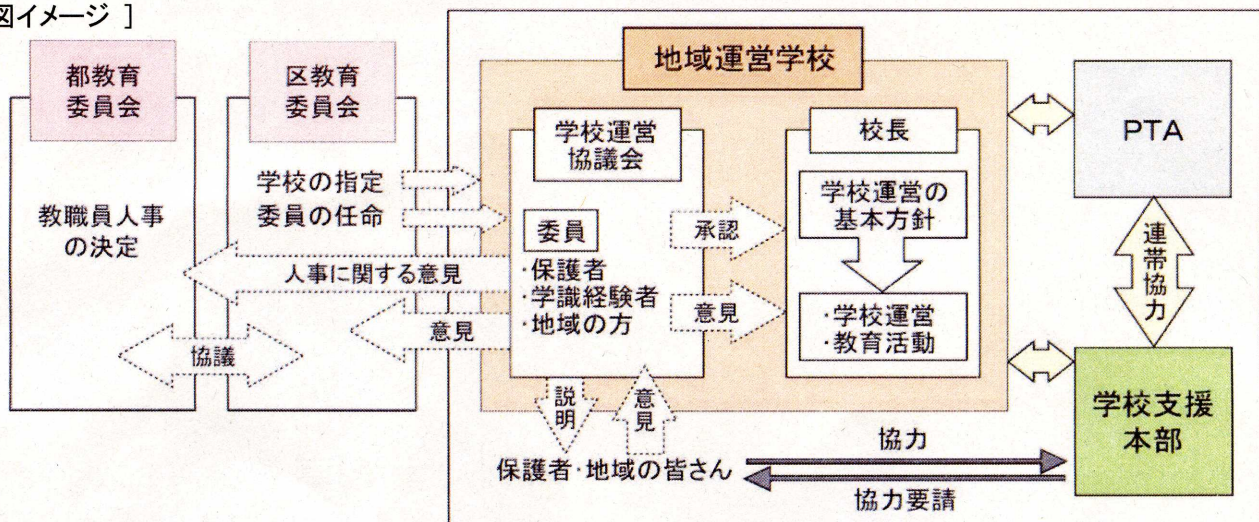


地域に開かれ・支えられる富士見丘小学校へ…

富士見丘小学校は、地域運営学校になります。

学校支援本部は、かわらずに子ども達の教育環境をサポートします。

[組織図イメージ]



Q：普通の学校とどこが違うの？

A: 地域運営学校も、公立学校に変わりはありませんが、その運営にあたって、保護者や地域の皆さんの参画が仕組みとして保障されていることが他の学校との違いです。

Q：学校運営協議会とは？

A：保護者や地域の方々を含む学識経験者、校長推薦者、公募委員の方により構成される合議制の機関です。一定の権限を持って学校運営に参画し、教育委員会、校長と責任を分かち合いながら学校運営に携わります。

「きらきらひかる」
富士見丘小学校学校支援本部だより
Vol. 2

発行:平成 21 年 9 月 1 日
編集:富士見丘小学校 学校支援本部
〒168-0074 杉並区上高井戸 2-16-13
TEL/FAX: 03-5941-8967
E-mail: fujimishoushien@bz03.plala.or.jp